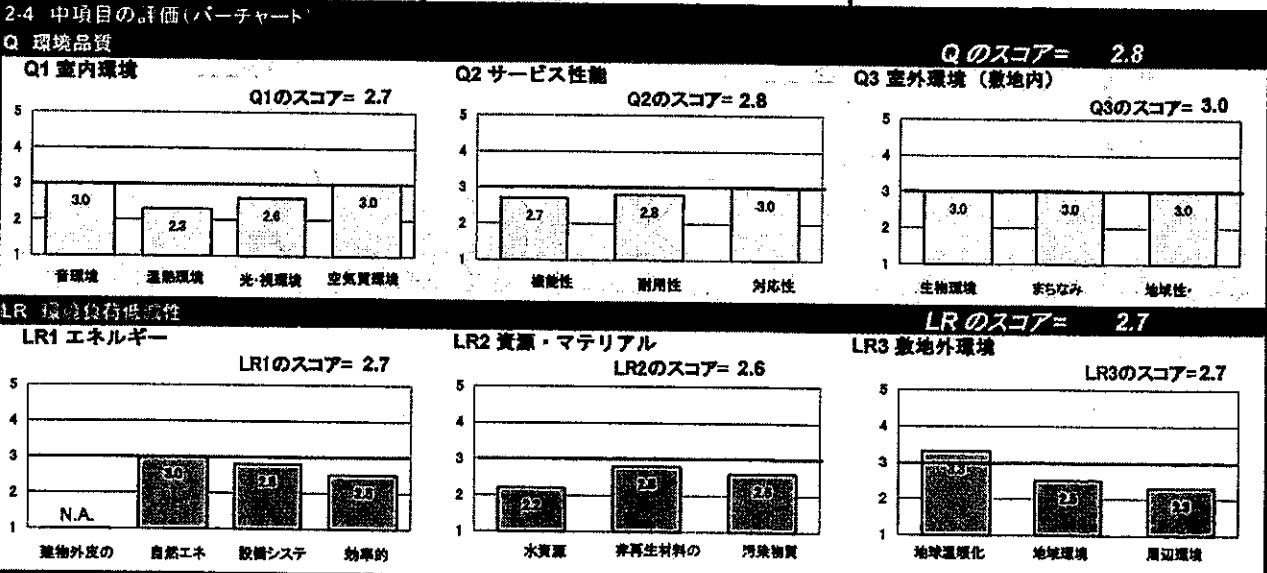
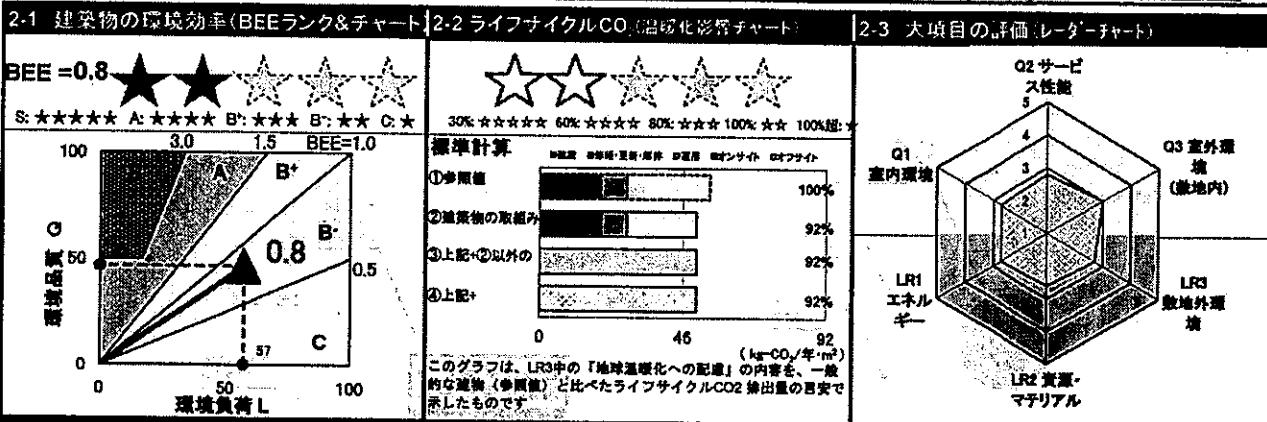


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)けいはんな野菜工場	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市木津川台9丁目5-5	構造	S造
用途地域	準工業、防火未指定	平均居住人員	45人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年3月30日
敷地面積	11,550 m ²	作成者	(株)緑企画設計 安藤
建築面積	3,938 m ²	確認日	2017年3月31日
延床面積	5,389 m ²	確認者	(株)緑企画設計 土屋



3 設計上の配慮 小項		その他	
総合		その他の評価	
東側に住宅ゾーンをかかえ、切妻天井裏を外壁を立ち上げて離し、工場らしさの低減と光害防止を図った。東側・西側道路に面し、隣地へと縦横性を考慮に入れ、既存キヨウチクトウを剪定の上、残している。東側の住宅ゾーンに配慮し、駐車ヘッドライトの漏れを防ぐため、塀板を設置している。		生産ソーンは資源管理及びエネルギーのロスを考慮に入れ、外壁ALCに加え、内側に断熱パネルを設置し、十分な断熱をしています。水系養殖による野菜工場において、糞液はリサイクルさせ使用することを考えている。	
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内)	
Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
Q3 室外環境(敷地内)		Q3 室外環境(敷地内)	
Q3 室外環境(敷地内)		Q3 室外環境(敷地内)	
Q4 エネルギー		Q4 エネルギー	
Q4 エネルギー		Q4 エネルギー	
Q5 資源・マテリアル		Q5 資源・マテリアル	
Q5 資源・マテリアル		Q5 資源・マテリアル	
Q6 敷地外環境		Q6 敷地外環境	
Q6 敷地外環境		Q6 敷地外環境	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される